

プロフィール

Mate Kamaras (マテ・カマラス)

1976年9月21日、ハンガリー・ミシュコルツ生まれ。

15歳でロックバンド結成し、リードボーカルとなる。

18歳には、高校のミュージカル『レ・ミゼラブル』ジャン・ヴァルジャン役で舞台デビュー。

1996年には『フェーム』ニック役を果たす。

高校卒業後は、ブダペストの演劇コースを受け、のち、ロンドンの名門校エルムハースト・ミュージカル・スクールの奨学金を得て、渡英。

1997年、世界プレミアとなったウィーンオリジナルキャストで、ロマン・ポランスキーによる『ダンス・オブ・ザ・ヴァンパイアズ』に出演。後、ヘルベルト役に選ばれる。

1998年1月～1999年春には、トート役でブダペストのオペレッタ劇場にて『エリザベート』に出演。1998年夏には、『ロックン・ミュージカル・ショー』に参加。

2000年、精力的に舞台出演しヨーロッパ中をツアーする。出演作品は、ノルウェーでの『チェス』（アメリカ人の役）、ウィーンでの『ウェスト・サイド・ストーリー』（トニー役）、そして同じくウィーンでの『ファルコ・ア・サイバー・ショー』等。また、ミュージカル『ジョゼフ・アンド・ジ・アメージング・テクニカラー・ドリームコート』では、ファラオ役で登場。

彼をスターダムに押し上げたのは、紛れもなく2003年～2005年にウィーンで開催された、ディレクター・ハリー・クーファーによるオリジナル版再演『エリザベート』で、トート役を演じた時と言えよう。合計公演回数は500回で、DVDはプラチナム・ディスクx4、CDはゴールド・ディスクx2を獲得する程の人気作品であった。

マテの初来日は、2007年、オリジナル・ウィーン版『エリザベート』の日本ツアーで、東京と大阪の2都市を回る。同年、姿月あさと、武田真治等との共演でミュージカルコンサート『スーパー・ライブ』に出演し、東京、大阪公演を行う。

2008年、『ウィーン・ミュージカル・コンサート』ではソロイストの一人として再来日を果たす。

2009年、『スーパー・ライブ Vol.2 - LOVE LEGEND』公演にて2都市、13公演を、姿月あさとと、2007年『エリザベート』で共演したルカス・ペルマンとのジョイントで回る。

2010年には、『フランク&フレンズ/ミツコ』コンサート公演では、ブロードウェイの音楽家フランク・ワイルドホーンや世界の名優達と共演し来日 を果たす。合計11公演を日本語、英語、ドイツ語で歌い上げた。この年、地元ミシュコルツ（ハンガリー）より、彼の活躍が認められ、市民栄誉賞を受賞する。同年の出演ミュージカルと言えば、『切り裂きジャック』でのオリジナルキャストメンバー等がある。

2011年では、ミュージカル『ミツコ』（小池修一郎氏演出による世界初演）にて再び来日を果たし、ミツコの夫役としてハインリッヒ・グーデンホーフを演じる。東京、大阪、名古屋で合わせて36公演を全て日本語で演じ、歌い上げた。

そして2012年、東宝版『エリザベート』において、トート役を、山口祐一郎、石丸幹二の三人によるトリプルキャストの一人として演じる。もちろん、全て日本語で。